

川崎市(かわさきし)

自治体概要

- 人口：1,551,788人（R6.10.1現在）
- 行政区：7区
- 常勤保健師 220名
- 主な配属先 下図参照

【R7年度保健師の主な配属先と人数】

区役所地域みまもり支援センター（7区）

170人

地域支援課

- 地域づくり活動
- 母子保健事業
- 健康づくり、介護予防事業

高齢・障害課

高齢者、障がいのある方への相談支援業務

衛生課

- 結核等療養支援業務
- HIVに関する業務

健康福祉局 33人

- 地域包括ケアシステムの推進
- 健康づくりや介護予防施策
- 感染症対策
- 災害医療・保健施策
- 障害保健・福祉施策 等

こども未来局 8人

- 母子保健施策
- 児童虐待対策
- 児童相談所での相談支援業務

総務企画局人事部 環境局総務部 教育委員会 9人

職員の健康管理・相談
安全衛生関係業務 など

活動風景



住民とともに
地域の課題を考える



充実した研修体制

川崎市の保健師活動の魅力

1 地区担当制をベースにした業務体制(区役所)

川崎市は「すべての市民を対象とした地域包括ケアシステムの推進」として、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域を目指しています。区役所地域支援課の保健師は、地区担当制をとって、乳幼児から高齢者まで、すべての市民の健康課題や地域課題に、住民と協働で取り組みます。

2 政令指定都市ならではの幅広い業務を経験できる

区役所の他、本庁や専門事業所など多くの配置先があり、多職種と一緒に幅広い業務経験が積めます。

3 コンパクトだけど多彩な7つの行政区が魅力

コンパクトで交通の利便性もいいので、異動先の心配は少ないです。また、区ごとに特徴があるので、地域特性に合わせた保健活動に面白さがあります。



先輩保健師からメッセージ

川崎市は地区担当制であるため、担当地区のことが詳しく理解でき、保健師が中心となって多職種や関係機関をつなぎ支援することが多く、やりがいを感じます。また地域の方とイベントを考えたり、顔のつながりができると新たな活動に繋がったりと、楽しく仕事できています。（R3年入庁）

先輩や同期との距離が近く気軽に相談できる温かい職場で安心して仕事をすることができています。研修も充実しているため、スキルアップができ実践にも活かしています。同期が多いので心強いです。（R3年入庁）

問合せ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域保健担当 044-200-0482